

令和4年度シラバス(日本史B)

学番53 県立小出高等学校

教科(科目)	地理歴史(日本史B)	単位数	4単位	学年	3学年	コース	文系(文1)
教科書 副教材等	[主たる教材] 実教出版「日本史B 新訂版」 [副教材] 東京法令出版「日本史のアーカイブ」						

1 科目の目標

我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2 科目の内容

- (1) 近世・近代・両世界大戦期の日本と世界
各時代の国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。
- (2) 現代の日本と世界
現代の社会や国民生活の特色について、国際環境と関連付けて考察させ、世界の中での日本の立場について認識させる。

3 授業計画

月	内 容	時間	指導上の留意点
4	第6章 武家社会の展開と室町文化 1~4	20	・目標に即して基本的な事項・事柄を精選して指導内容を構成するとともに、各時代において日本と世界を関連付けて扱うこと。また、地理的条件とも関連付けるようにする。
5	1学期中間考査		
6	第6章 武家社会の展開と室町文化 5	20	・年表、地図その他の資料を積極的に活用して、具体的に学ばせるように工夫する。
7	第7章 幕藩体制の展開と近世の文化 1,2		
7	第7章 幕藩体制の展開と近世の文化 3,4	20	・近現代世界において、客観的かつ公正な資料に基づいて歴史の事実に関する理解を得させるようにする。
8,9	1学期期末考査		
10	第7章 幕藩体制の展開と近世の文化 5,6	35	・政治、経済、社会、文化、宗教、生活など様々な観点から歴史的事象を取り上げ、多角的で柔軟な見方を養う。
11	第8章 幕藩体制の動揺と文化の成熟		
12	2学期中間考査	33	
1	第9章 近代への転換		
2	第10章 近代国家の形成	33	
3	第11章 両大戦間の日本と市民文化		
3	2学期期末考査	128	
3	第12章 十五年戦争		
1	第13章 現代の日本と新しい文化	33	
2	学年末考査		
合 計		128	

(55分授業)

4 学習評価

	①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③資料活用の技能	④知識・理解
評価の観点・規準	我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとしている。	我が国の歴史の展開から課題を見だし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	・学習活動への参加状況 ・発問などに対する発言などの反応 ・提出プリントなどの内容 ・課題の提出,取り組み	・定期考査 ・学習活動への参加状況 ・発問などに対する発言などの反応 ・提出プリントなどの内容	・定期考査 ・学習活動への参加状況 ・提出プリントなどの内容	・定期考査 ・学習活動への参加状況 ・発問などに対する発言などの反応 ・提出プリントなどの内容

令和4年度シラバス(日本史B)

学番53 県立小出高等学校

教科(科目)	地理歴史(日本史B)	単位数	4単位	学年	3学年	コース	文系(文Ⅱ)
教科書 副教材等	[主たる教材] 実教出版「日本史B 新訂版」 [副教材] 東京法令出版「日本史のアーカイブ」						

1 科目の目標

我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2 科目の内容

- (1) 近世・近代・両世界大戦期の日本と世界
各時代の国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。
- (2) 現代の日本と世界
現代の社会や国民生活の特色について、国際環境と関連付けて考察させ、世界の中での日本の立場について認識させる。

3 授業計画

月	内 容	時間	指導上の留意点
4	第6章 武家社会の展開と室町文化 1~4	20	・目標に即して基本的な事項・事柄を精選して指導内容を構成するとともに、各時代において日本と世界を関連付けて扱うこと。また、地理的条件とも関連付けるようにする。
5	1学期中間考査		
6	第6章 武家社会の展開と室町文化 5	20	・年表、地図その他の資料を積極的に活用して、具体的に学ばせるように工夫する。
7	第7章 幕藩体制の展開と近世の文化 1,2		
7	第7章 幕藩体制の展開と近世の文化 3,4	20	・近現代世界において、客観的かつ公正な資料に基づいて歴史の事実に関する理解を得させるようにする。
8,9	1学期期末考査		
10	第7章 幕藩体制の展開と近世の文化 5,6	35	・政治、経済、社会、文化、宗教、生活など様々な観点から歴史的事象を取り上げ、多角的で柔軟な見方を養う。
11	第8章 幕藩体制の動揺と文化の成熟		
12	2学期中間考査	33	
1	第9章 近代への転換		
2	第10章 近代国家の形成	33	
3	第11章 両大戦間の日本と市民文化		
3	2学期期末考査	128	
3	第12章 十五年戦争		
1	第13章 現代の日本と新しい文化	33	
2	学年末考査		
3	学年末考査	128	
	合 計		

(55分授業)

4 学習評価

	①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③資料活用 of 技能	④知識・理解
評価の観点・規準	我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとしている。	我が国の歴史の展開から課題を見だし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	・学習活動への参加状況 ・発問などに対する発言などの反応 ・提出プリントなどの内容 ・課題の提出,取り組み	・定期考査 ・学習活動への参加状況 ・発問などに対する発言などの反応 ・提出プリントなどの内容	・定期考査 ・学習活動への参加状況 ・提出プリントなどの内容	・定期考査 ・学習活動への参加状況 ・発問などに対する発言などの反応 ・提出プリントなどの内容

令和4年度シラバス(日本史B)

学番53 県立小出高等学校

教科(科目)	地理歴史(日本史B)	単位数	2単位	学年	3学年	コース	理系
教科書 副教材等	[主たる教材] 実教出版「日本史B 新訂版」 [副教材] 東京法令出版「日本史のアーカイブ」						

1 科目の目標

我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2 科目の内容

- (1) 近世・近代・両世界大戦期の日本と世界
各時代の国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。
- (2) 現代の日本と世界
現代の社会や国民生活の特色について、国際環境と関連付けて考察させ、世界の中での日本の立場について認識させる。

3 授業計画

月	内 容	時間	指導上の留意点
4	第6章 武家社会の展開と室町文化 1~4	10	・目標に即して基本的な事項・事柄を精選して指導内容を構成するとともに、各時代において日本と世界を関連付けて扱うこと。また、地理的条件とも関連付けるようにする。 ・年表、地図その他の資料を積極的に活用して、具体的に学ばせるように工夫する。 ・近現代世界において、客観的かつ公正な資料に基づいて歴史の事実に関する理解を得させるようにする。 ・政治、経済、社会、文化、宗教、生活など様々な観点から歴史的事象を取り上げ、多角的で柔軟な見方を養う。
5	1学期中間考査		
6	第6章 武家社会の展開と室町文化 5	11	
7	第7章 幕藩体制の展開と近世の文化 1,2		
7	第7章 幕藩体制の展開と近世の文化 3,4	10	
8,9	1学期期末考査		
10	第7章 幕藩体制の展開と近世の文化 5,6	17	
11	第8章 幕藩体制の動揺と文化の成熟		
12	2学期中間考査	16	
1	第9章 近代への転換		
2	第10章 近代国家の形成	64	
3	第11章 両大戦間の日本と市民文化		
3	2学期期末考査	合計	
3	第12章 十五年戦争		
1	第13章 現代の日本と新しい文化	64	
2	学年末考査		
3	学年末考査		

(55分授業)

4 学習評価

	①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③資料活用の技能	④知識・理解
評価の観点・規準	我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとしている。	我が国の歴史の展開から課題を見だし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加状況 ・発問などに対する発言などの反応 ・提出プリントなどの内容 ・課題の提出,取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・学習活動への参加状況 ・発問などに対する発言などの反応 ・提出プリントなどの内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・学習活動への参加状況 ・提出プリントなどの内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・学習活動への参加状況 ・発問などに対する発言などの反応 ・提出プリントなどの内容

令和4年度シラバス(地理B)

学番53 県立小出高等学校

教科(科目)	地理歴史(地理B)	単位数	4単位	学年	3学年	コース	文系(文I)
教科書 副教材等	[主たる教材] 帝国書院「新詳地理B」 帝国書院「新詳高等地図」 [副教材] 第一学習社「最新地理図表GEO五訂版」						

1 科目の目標

現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2 科目の内容

(1) 地球儀や様々な地図の活用及び地域調査などの活動を通して、地図の有用性に気付かせるとともに、地理的技能を身に付けさせる。
 (2) 世界の自然環境、資源、産業、人口、都市・村落、生活文化、民族・宗教に関する諸事象の空間的な規則性、傾向性やそれらの要因などを系統地理的に考察させるとともに、現代世界の諸課題について地球的視野から理解させる。
 (3) 現代世界の諸地域を多面的・多角的に考察し、各地域の多様な特色や課題を理解させるとともに、現代世界を地誌的に考察する方法を身に付けさせる。

3 授業計画

月	内容	時間	指導上の留意点
4	第Ⅲ部 世界の諸地域	26	・地理的な見方や考え方や地図の読図や写真の読み取りなど地理的技能を身に付けることができるよう計画的に指導する。その際、教科用図書「地図」を十分に活用する。
5	現代世界の地域区分 東アジア		
6	1学期中間考査 東南アジア	30	・各項目の内容に応じて日本を扱うとともに、日本と他の地域を比較し関連付けて考察させる。 ・地球儀や地図の活用、地理情報の収集、選択、処理、諸資料の地理情報化などの作業的・体験的な学習を取り入れるとともに、各項目を関連付けて地理的技能が身に付くように工夫する。
6	南アジア		
7	西アジア 中央アジア		
7	1学期期末考査	26	・現代世界が自然、政治、経済、文化などの指標によって様々な地域区分できるところに着目させ、それらを比較対照させることによって、地域概念、地域区分の意義などを理解させるようにする。
8,9	ヨーロッパ		
10	ロシア アングロアメリカ		
11	2学期中間考査 ラテンアメリカ		
12	オセアニア 日本	16	・様々な規模の地域を世界全体から偏りなく取り上げるようにする。また、取り上げた地域の多様な事象を項目ごとに整理して考察する地誌、取り上げた地域の特色ある事象と他の事象を有機的に関連付けて考察する地誌、対照的または類似的な性格の二つの地域を比較して考察する地誌の考察方法を用いて学習できるように工夫する。
12	2学期期末考査		
1	テーマ学習(比較地誌)	16	
2	テーマ学習(比較地誌)		
3	学年末考査		
合計		128	

(55分授業)

4 学習評価

評価の観点・規準	①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③資料活用の技能	④知識・理解
評価方法	・意欲的に課題を追究し、地理的現象を考察している。 ・現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高めている。	・地理的事象を具体的かつ詳細にとらえて、私たちの生活と結びつけ系統的、地誌的に考察し、公正に判断している。	・地図や写真、統計資料など諸資料を収集し、理解・活用することで、地理的事象・問題をとらえている。	・現代世界の地理的事象をとらえ、基本的事柄や課題追究の方法を理解し、身に付けている。
	・学習活動への参加状況 ・発問に対する反応 ・課題の取り組み状況	・定期考査 ・学習活動への参加状況 ・発問などに対する発言内容 ・提出物などの内容	・定期考査 ・学習活動への参加状況 ・提出物などの内容	・定期考査 ・学習活動への参加状況 ・発問に対する反応 ・提出物などの内容

令和4年度シラバス(地理B)

学番53 県立小出高等学校

教科(科目)	地理歴史(地理B)	単位数	4単位	学年	3学年	コース	文系(文Ⅱ)
教科書 副教材等	[主たる教材] 帝国書院「新詳地理B」 帝国書院「新詳高等地図」 [副教材] 第一学習社「最新地理図表GEO五訂版」						

1 科目の目標

現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2 科目の内容

(1) 地球儀や様々な地図の活用及び地域調査などの活動を通して、地図の有用性に気付かせるとともに、地理的技能を身に付けさせる。
 (2) 世界の自然環境、資源、産業、人口、都市・村落、生活文化、民族・宗教に関する諸事象の空間的な規則性、傾向性やそれらの要因などを系統地理的に考察させるとともに、現代世界の諸課題について地球的視野から理解させる。
 (3) 現代世界の諸地域を多面的・多角的に考察し、各地域の多様な特色や課題を理解させるとともに、現代世界を地誌的に考察する方法を身に付けさせる。

3 授業計画

月	内容	時間	指導上の留意点
4	第Ⅲ部 世界の諸地域	26	・地理的な見方や考え方及び地図の読図や写真の読み取りなど地理的技能を身に付けることができるよう計画的に指導する。その際、教科用図書「地図」を十分に活用する。
	現代世界の地域区分		
5	東アジア		
	1学期中間考査	30	・各項目の内容に応じて日本を扱うとともに、日本と他の地域を比較し関連付けて考察させる。
6	東南アジア		
	南アジア		
	西アジア		
7	中央アジア	30	・地球儀や地図の活用、地理情報の収集、選択、処理、諸資料の地理情報化などの作業的・体験的な学習を取り入れるとともに、各項目を関連付けて地理的技能が身に付くように工夫する。
	1学期期末考査		
8,9	ヨーロッパ		
	ロシア	26	・現代世界が自然、政治、経済、文化などの指標によって様々な地域区分できることに着目させ、それらを比較対照させることによって、地域の概念、地域区分の意義などを理解させるようにする。
10	アングロアメリカ		
	2学期中間考査	16	・様々な規模の地域を世界全体から偏りなく取り上げるようにする。また、取り上げた地域の多様な事象を項目ごとに整理して考察する地誌、取り上げた地域の特色ある事象と他の事象を有機的に関連付けて考察する地誌、対照的または類似的な性格の二つの地域を比較して考察する地誌の考察方法を用いて学習できるように工夫する。
11	ラテンアメリカ		
	オセアニア		
12	日本	128	
	2学期期末考査		
1	テーマ学習(比較地誌)		
2	テーマ学習(比較地誌)	16	
3	学年末考査		
	合計		

(55分授業)

4 学習評価

評価の観点・規準	①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③資料活用の技能	④知識・理解
評価方法	・意欲的に課題を追究し、地理的現象を考察している。 ・現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高めている。	・地理的事象を具体的かつ詳細にとらえて、私たちの生活と結びつけ系統的、地誌的に考察し、公正に判断している。	・地図や写真、統計資料など諸資料を収集し、理解・活用することで、地理的事象・問題をとらえている。	・現代世界の地理的事象をとらえ、基本的な事柄や課題追究の方法を理解し、身に付けている。
	・学習活動への参加状況 ・発問に対する反応 ・課題の取り組み状況	・定期考査 ・学習活動への参加状況 ・発問などに対する発言内容 ・提出物などの内容	・定期考査 ・学習活動への参加状況 ・提出物などの内容	・定期考査 ・学習活動への参加状況 ・発問に対する反応 ・提出物などの内容

令和4年度シラバス(地理B)

学番53 県立小出高等学校

教科(科目)	地理歴史(地理B)	単位数	2単位	学年	3学年	コース	理系
教科書 副教材等	[主たる教材] 帝国書院「新詳地理B」 帝国書院「新詳高等地図」 [副教材] 第一学習社「最新地理図表GEO五訂版」						

1 科目の目標

現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2 科目の内容

(1) 地球儀や様々な地図の活用及び地域調査などの活動を通して、地図の有用性に気付かせるとともに、地理的技能を身に付けさせる。
 (2) 世界の自然環境、資源、産業、人口、都市・村落、生活文化、民族・宗教に関する諸事象の空間的な規則性、傾向性やそれらの要因などを系統地理的に考察させるとともに、現代世界の諸課題について地球的視野から理解させる。
 (3) 現代世界の諸地域を多面的・多角的に考察し、各地域の多様な特色や課題を理解させるとともに、現代世界を地誌的に考察する方法を身に付けさせる。

3 授業計画

月	内容	時間	指導上の留意点
4	第Ⅲ部 世界の諸地域	10	・地理的な見方や考え方及び地図の読図や写真の読み取りなど地理的技能を身に付けることができるよう計画的に指導する。その際、教科用図書「地図」を十分に活用する。
	現代世界の地域区分		
5	東アジア		
	1学期中間考査	12	・各項目の内容に応じて日本を扱うとともに、日本と他の地域を比較し関連付けて考察させる。 ・地球儀や地図の活用、地理情報の収集、選択、処理、諸資料の地理情報化などの作業的・体験的な学習を取り入れるとともに、各項目を関連付けて地理的技能が身に付くように工夫する。
6	東南アジア		
	南アジア		
	西アジア		
7	中央アジア	16	・現代世界が自然、政治、経済、文化などの指標によって様々な地域区分できるところに着目させ、それらを比較対照させることによって、地域の概念、地域区分の意義などを理解させるようにする。
	1学期期末考査		
8,9	ヨーロッパ		
	ロシア	10	・様々な規模の地域を世界全体から偏りなく取り上げるようにする。また、取り上げた地域の多様な事象を項目ごとに整理して考察する地誌、取り上げた地域の特色ある事象と他の事象を有機的に関連付けて考察する地誌、対照的または類似的な性格の二つの地域を比較して考察する地誌の考察方法を用いて学習できるように工夫する。
10	アングロアメリカ		
	2学期中間考査	16	・様々な規模の地域を世界全体から偏りなく取り上げるようにする。また、取り上げた地域の多様な事象を項目ごとに整理して考察する地誌、取り上げた地域の特色ある事象と他の事象を有機的に関連付けて考察する地誌、対照的または類似的な性格の二つの地域を比較して考察する地誌の考察方法を用いて学習できるように工夫する。
11	ラテンアメリカ		
	オセアニア		
12	日本	16	・様々な規模の地域を世界全体から偏りなく取り上げるようにする。また、取り上げた地域の多様な事象を項目ごとに整理して考察する地誌、取り上げた地域の特色ある事象と他の事象を有機的に関連付けて考察する地誌、対照的または類似的な性格の二つの地域を比較して考察する地誌の考察方法を用いて学習できるように工夫する。
	2学期期末考査		
1	テーマ学習(比較地誌)		
2	テーマ学習(比較地誌)	16	・様々な規模の地域を世界全体から偏りなく取り上げるようにする。また、取り上げた地域の多様な事象を項目ごとに整理して考察する地誌、取り上げた地域の特色ある事象と他の事象を有機的に関連付けて考察する地誌、対照的または類似的な性格の二つの地域を比較して考察する地誌の考察方法を用いて学習できるように工夫する。
3	学年末考査		
	合計	64	

(55分授業)

4 学習評価

評価の観点・規準	①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③資料活用の技能	④知識・理解
評価方法	・意欲的に課題を追究し、地理的現象を考察している。 ・現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高めている。	・地理的事象を具体的かつ詳細にとらえて、私たちの生活と結びつけ系統的、地誌的に考察し、公正に判断している。	・地図や写真、統計資料など諸資料を収集し、理解・活用することで、地理的事象・問題をとらえている。	・現代世界の地理的事象をとらえ、基本的事柄や課題追究の方法を理解し、身に付けている。
	・学習活動への参加状況 ・発問に対する反応 ・課題の取り組み状況	・定期考査 ・学習活動への参加状況 ・発問などに対する発言内容 ・提出物などの内容	・定期考査 ・学習活動への参加状況 ・提出物などの内容	・定期考査 ・学習活動への参加状況 ・発問に対する反応 ・提出物などの内容

令和4年度シラバス(現代社会)

学番53 県立小出高等学校

教科(科目)	公民(現代社会)	単位数	3単位	学年	3学年	コース	共通
教科書 副教材等	[主たる教材] 実教出版「高校 現代社会 新訂版」 [副教材] 第一学習社「クローズアップ現代社会新版」						

1 科目の目標

人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

2 科目の内容

現代社会における諸課題を扱う中で、社会の在り方を考察する基盤として、幸福、正義、公正などについて理解させるとともに、現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚させる。

3 授業計画

月	内容	時間	指導上の留意点
4	第5章 国際政治の動向	17	・内容の全体にわたって、中学校社会科及び道徳並びに公民科に属する他の科目、地理歴史科、家庭科、情報科及び特別活動などとの関連を図るとともに、項目相互の関連に留意しながら、全体としてのまとまりを工夫し、特定の事項だけに偏らないようにする。
	1. 国際社会における政治と法 2. 国家安全保障と国際連合		
5	3. 冷戦期の脅威と冷戦後の脅威 4. 軍備競争と軍備縮小		
	5. 異なる人種・民族との共存 6. 国際社会と日本		
	1学期中間考査		
6	第2編 現代の経済	18	・社会的事象は相互に関連し合っていることに留意し、社会的事象に対する関心をもって多様な角度から考察させるとともに、できるだけ総合的にとらえることができるようにする。
	1. 経済社会の形成と変容 2. 市場のしくみ		
	3. 現代の企業 4. 経済成長と景気変動		
7	5. 金融機関の働き 6. 政府の役割と財政・租税		
	1学期期末考査		
8,9	第7章 経済活動のあり方と国民福祉	16	・生徒が自己の生き方にかかわって主体的に考察できるよう学習指導の展開を工夫する。
	1. 日本経済の歩みと近年の課題 2. 中小企業と農業		
	3. 公害防止と環境保全 4. 消費者問題		
10	5. 労働問題と雇用 6. 社会保障		・的確な資料に基づいて、社会的事象に対する客観的かつ公正なものを見方や考え方を育成するとともに、学び方の習得を図る。その際、統計などの資料の見方やその意味、情報の検索や処理の仕方、簡単な社会調査の方法などについて指導する。
	2学期中間考査		
11	第8章 国際経済の動向	18	・学習の過程で考察したことや学習の成果を適切に表現させるよう留意する。
	1. 国際経済のしくみ 2. 国際経済体制の変化		
	3. 金融のグローバル化と世界金融危機		
12	4. 地域経済統合と新興国 5. ODAと経済協力		
	2学期期末考査		
1	第3編 共に生きる社会をめざして	27	
2			
3	3学期学年末考査		
	合 計	96	

(55分授業)

4 学習評価

評価の観点・規準	①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③資料活用 of 技能	④知識・理解
		現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会的事象を総合的に考えようとする態度と民主的・平和的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとしている。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付けている。
評価方法	・学習活動への参加状況 ・発問などに対する発言などの反応 ・提出プリントなどの内容 ・課題の提出、取り組み	・定期考査 ・学習活動への参加状況 ・発問などに対する発言などの反応 ・提出プリントなどの内容	・定期考査 ・学習活動への参加状況 ・提出プリントなどの内容	・定期考査 ・学習活動への参加状況 ・発問などに対する発言などの反応 ・提出プリントなどの内容

令和4年度シラバス(体育)

学番53 県立小出高等学校

教科(科目)	保健体育(体育)	単位数	2単位	学年	3学年	コース	共通
教科書 副教材等	[主たる教材]大修館書店「現代高等保健体育 改訂版」						

1 学習目標

運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

2 科目の内容

「体づくり運動」、「器械運動」、「陸上競技」、「球技」、「武道」、「ダンス」および「体育理論」の領域から、選択して実施する。

3 学習計画

月	内 容	時間	指導上の留意点
4	体づくり運動	7	○体を動かす楽しさや心地よさを味わう ○継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てる
5	1学期中間考査		○記録の向上や競争を通して自己や仲間の課題を解決する
6	陸上競技	12	○技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解する ○各種目特有の技能を身に付ける
7	1学期期末考査		
	体育理論	6	○運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解する ○豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解する
9	球技選択①,持久走		
10	2学期中間考査	16	
	校内マラソン大会		
11			
12	2学期期末考査	15	[球技] ○勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わう ○技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解する ○作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する
1			
2	球技選択③	8	[持久走・校内マラソン大会] ○自分で設定したペースを維持し、記録の向上を目指す
3	学年末考査		
合 計		64	

55分授業

4 評価規準と評価方法

評価の観点・規準	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解しようとしているとともに、技能を身に付けようとしている。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見しようとしている。 合理的、計画的な解決に向けて思考し判断している。 他者に伝える力を身につけようとしている。	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養おうとしている。
評価方法	(知識) 学習した内容について、練習中に言ったり、ノートに書き出したりしている。 (技能) 前時に学習した具体例を実践し、プレーしている。	ノートに課題と反省を書くことで、自己の活動の振り返る。 班ごとの授業計画を作成する。 グループワークで作戦や方針を決める。	学習ノートへの記入状況 質問に対する発信内容 授業準備等への参加